FTD-X512A
ユーザーズマニュアル

このたびは本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本製品は、15型カラー液晶ディスプレイです。

本書は本製品の取扱方法や注意事項について解説しています。本製品を使用する前に必ず最後までお読みになり、正しく使用してください。なお、本書は必要なときにすぐに参照できるように保管してください。

- パソコンのアナログRGBコネクタに接続できます。
- 自動調整機能を搭載しており、画面表示を自動的に調整できます。【P14】
- スムージング機能を搭載しており、1024×768ドットよりも低い解像度で拡大表示した場合でも、文字やグラフィックをなめらかに表示できます。【P10】

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。
なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

本書に使われている表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的障害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告、注意を促す内容を示します。（例： 感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例： 分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例： プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

電源ケーブルは、必ず本製品付属ものを使用してください。
付属品以外の電源ケーブルでは、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙や発火、本製品の故障の原因となる恐れがあります。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

本体やケーブルの上に物を置かないでください。
故障や火災の原因となることがあります。

故障した状態（画面に何も表示されないなど）で使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の恐れがあります。修理のご依頼は、本書巻末の「修理について」を参照してください。

ケーブル類を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
ケーブル部分を持って引き抜くと感電や断線の原因となります。

落雷による事故防止のため、近くで雷が発生したときは電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品の取り付け、取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま取り付け、取り外しを行うと、故障や感電の原因となります。

⚠ 注意

液体や異物などが内部に入ったら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取扱方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れ、身体の静電気を取り除くようにしてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

ゴムやビニル製品を長時間接触させておかないでください。

本製品の表面が変質したり、はげたり、ゴムやビニルが付着してとれなくなることがあります。

液晶ディスプレイについて

万一、液晶パネルが破損し、内部の液状の物質が皮膚に付着したときは、流水で15分以上洗浄し、念のため医師に相談することをおすすめします。目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、必ず医師に相談してください。液晶パネル内部には、刺激性物質が含まれています。

使用するとき

シャープペンシルや鉛筆など先のとがったものに注意してください。

液晶パネルに先のとがったものや硬いものを当てたりこすったりすると、傷がついたり割れたりすることがあります。また、長い爪も液晶パネルの損傷の原因となりますので、注意してください。

水分はすぐに拭き取ってください。

水滴や唾液などの水分が付着したまま長時間放置しないでください。液晶パネルの変形や退色の原因となります。

長時間、連続してディスプレイを見続けないでください。目の疲労防止のため、適度に休憩を取りながら使用してください。

液晶パネルの表面は傷がつきやすいため、むやみに触れたり、こすったり、たたいたりしないでください。

パソコンの電源スイッチがONになったままの状態で、ディスプレイケーブルのコネクタを抜き差ししないでください。また、使用中はコネクタが抜けないように、必ずコネクタのネジで固定してください。

お手入れ

禁止

液晶パネルを乾拭きしないでください。

液晶パネルが汚れたときは、柔らかい布やガーゼに無水アルコール(イソプロピルアルコール)を含ませて、軽く拭いてください。

禁止

溶剤を使用しないでください。

液晶パネルをベンジンやシンナーなどの溶剤や水などで拭かないでください。液晶パネルが溶けたり、退色の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際はパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

お手入れの前に、必ず本製品を接続したパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。感電の危険があります。

注意

液晶パネルに無理な力が加わらないように注意してください。

液晶パネルに圧力が加わると、その部分の表示が波打ちます。これは、ガラス板間に注入した液晶の配光が乱れるためです。強い圧力をかけると、乱れた配光が元に復帰しない場合があります。

使用環境

注意

直射日光、高温・多湿に注意してください。

直射日光が当たる場所や周囲の温度が40℃を超えるような場所、極端に湿度が高い場所では使用しないでください。液晶パネルの劣化や表面のはがれ、気泡が発生するなどの原因となります。

強制

使用条件を守って使ってください。

温度(10～35℃)・湿度(結露なきこと)の使用条件内でご使用ください。使用条件外で使用すると、寿命や劣化を早めたり、表示品質の劣化(しみ、汚れなど)の原因となります。

注意

低温に注意してください。

室温が10℃以下になる場所で使用すると、表示品質が低下したり、気泡が発生するなどの原因となります。また、液晶の特性が変化して元に戻らなくなることがあります。

注意

急激な温度変化に注意してください。

動作中の急激な温度変化は、故障の原因となります。

禁止

次の場所には設置しないでください。

感電、火災の原因となったり、故障の原因となります。

- 強い磁界が発生するところ .... 故障の原因となります。
- 静電気が発生するところ .... 故障の原因となります。
- 振動が発生するところ .... けが、故障、破損の原因となります。
- 不安定なところ .... 転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ ...... 故障や変形の原因となります。
- 漏電の危険があるところ .... 故障や感電の原因となります。

長期間使用しないとき

強制

直射日光が当たらない暗い場所に保管してください。

長期間使用しないときは梱包し、直射日光や蛍光灯の光が当たらない暗い場所に保管してください。また、低温・高温、多湿の場所は避けてください。

本製品の廃棄方法について

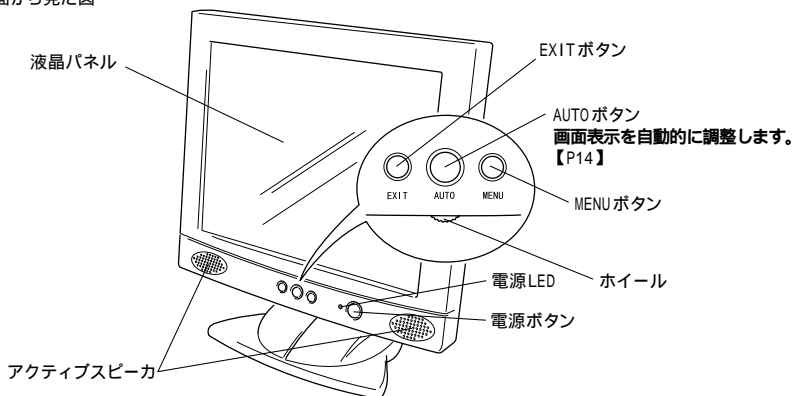
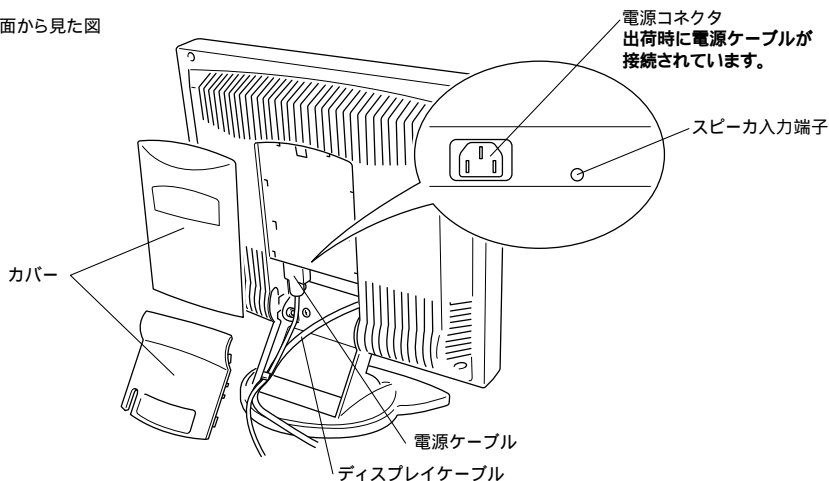
強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

● 本体 1台

前面から見た図

背面から見た図

● オーディオケーブル 1本

● フロッピーディスク「FTD-X512A Utility Disk」 1枚

● ユーザーズマニュアル（本書） 1冊

● 保証書、ユーザー登録はがき 1枚

※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。

※ パッケージに別紙で追加情報が同梱されている場合は、必ず参照してください。

接続　パソコンとの接続方法を説明します。

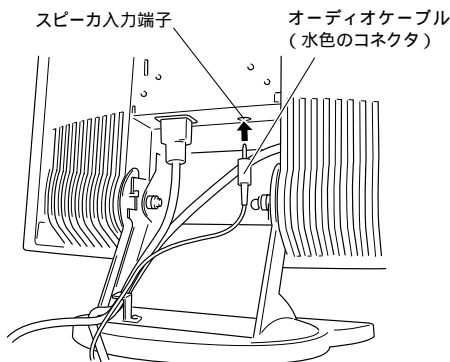
作業を行う前にパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。

1　FTDのディスプレイケーブルをパソコンのアナログRGBコネクタに接続します。

※ NEC PC-9821/9801シリーズのうち、D-sub15ピン（3列）のアナログRGBコネクタを装備していない機種で本製品を使用するときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

※ Macintoshのうち、D-sub15ピン（3列）のアナログRGBコネクタを装備していない機種にFTDを接続する場合は、別売の弊社製Macintosh用変換アダプタFTD-CNAを用意してください。【P10「Macintoshを使用しているとき」】

2　電源ケーブルの電源プラグをACコンセントに接続します。

3　FTDのスピーカから音声を出力したいときは、FTD背面のカバーを取り外し、付属のオーディオケーブルでFTDのスピーカ入力端子とパソコンのスピーカ出力端子を接続します。

4　FTDの電源ボタンをONにしてからパソコンの電源スイッチをONにします。

FTDの電源表示LEDが緑色に点灯します。

※ 次の状態のときは電源表示LEDがオレンジ色に点灯します。画像は表示されません。

- パソコンから画像信号が来ていないとき
- FTDが対応していない画像信号が来ているとき
- サスペンドモードになっているとき

サスペンドモードはキーを押したりマウスを動かすことで解除できます。

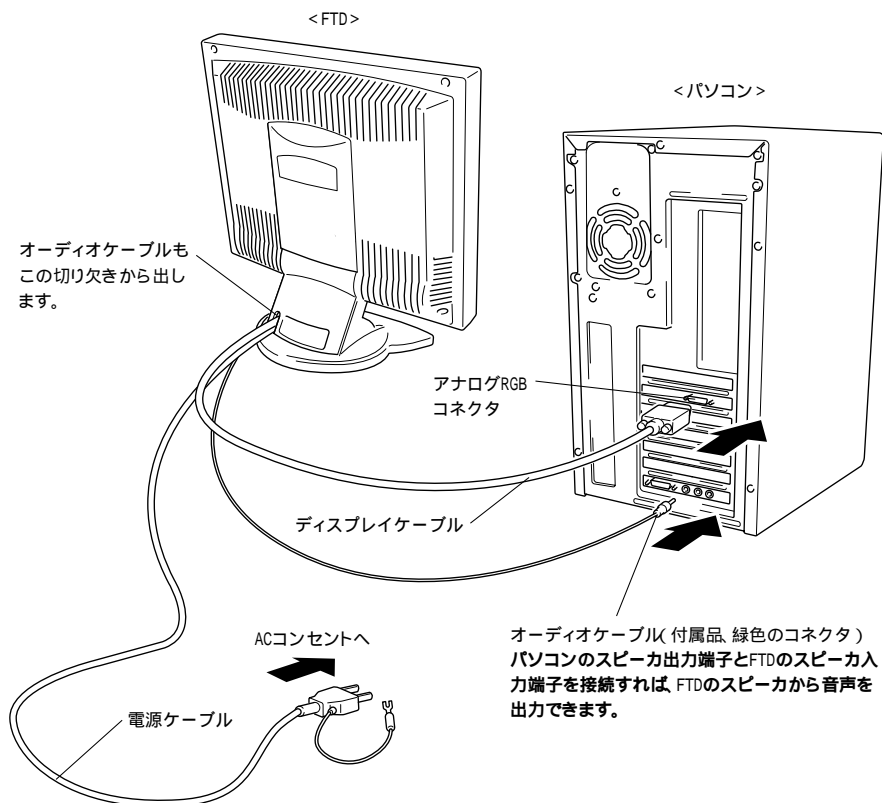
注意

パソコンの電源スイッチがONになっているときは、ディスプレイケーブルを抜き差ししないでください。また、使用中にディスプレイケーブルが抜けないよう、コネクタのネジを完全に締めてください。
本製品はディスプレイケーブルの抜き差しによる故障を防ぐ保護回路を内蔵しています。ただし、パソコンの電源スイッチがONのままディスプレイケーブルを抜き差しすると、内部の回路が破壊されることがあります。

注意

ケーブルの抜き差しは、必ずコネクタを持って行ってください。ケーブルを持って抜き差しすると、断線の原因となります。

●接続例

＜FTD＞
＜パソコン＞
オーディオケーブルも
この切り欠きから出し
ます。
アナログRGB
コネクタ
ディスプレイケーブル
ACコンセントへ
電源ケーブル
オーディオケーブル（付属品、緑色のコネクタ）
パソコンのスピーカ出力端子とFTDのスピーカ入
力端子を接続すれば、FTDのスピーカから音声を
出力できます。

使用する前に

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。
必ずお読みください。

Windows98/95を使用しているとき

次の手順で本製品のハードウェア情報を登録してください。

※ Windows95ではバージョンによって手順が一部異なります。次の手順で事前にバージョンを確認してください。
① [ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ] アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。
② 表示されたメニューの [ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)] をクリックします。
③ [ｼｽﾃﾑ:] に表示された文字列を確認します。この文字列がバージョンを表します。
バージョンは、4.00.950 / 4.00.950a / 4.00.950 B / 4.00.950 C の4種類あります。

1. [コントロール パネル] を開き、[画面] アイコンをダブルクリックします。
2. [設定] タブ (Windows95では [ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細] タブ) をクリックします。

   Windows95(4.00.950/4.00.950a)の場合
   ① [ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの変更(T)] ボタンをクリックします。
   ② [ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの種類(M)] の [変更(N)] ボタンをクリックします。

   Windows98、Windows95(4.00.950 B/4.00.950 C)の場合
   ① [詳細プロパティ(V)] ボタンをクリックします。
   ② [モニター] タブをクリックします。
   ③ [変更(C)] ボタンをクリックします。

3. 付属の「FTD-X512A Utility Disk」をフロッピーディスクドライブにセットします。
4. [ディスク使用(H)] ボタンをクリックします。
5. [参照(B)] ボタンをクリックします。
6. [ファイル名(N)] から「x512a.inf」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
7. [配布ファイルのコピー元] に「A:\」(下線部はフロッピードライブです) と表示されていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。
8. [モデル(L)] に表示されたモニター名から「MELCO ＜製品名＞」を選択して [OK] ボタンをクリックします。(＜製品名＞には、お求め頂いた製品名が入ります)

以上で設定は完了です。FTDの設定メニューで調整してから使用してください。【P12】

Windows2000を使用しているとき

次の手順で本製品のハードウェア情報を登録してください。

1. **Windows2000を起動し、administratorでログオンします。**
2. **[コントロール パネル]を開き、[画面]アイコンをダブルクリックします。**
3. **[設定]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。**
4. **[モニタ]タブをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。**
5. **[ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。**
6. **[デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始]画面が表示されたら、[次へ]ボタンを押します。**
7. **[このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]を選択し、[次へ>]ボタンをクリックします。**
8. **付属の「FTD-X512A Utility Disk」をフロッピードライブにセットします。**
9. **[ディスク使用]ボタンをクリックします。**
10. **[配布ファイルのコピー元]にA:\(下線部はフロッピードライブです)と入力し、[OK]ボタンをクリックします。**
11. **[モデル]に表示されたモニター名から「MELCO ＜製品名＞」を選択し、[次へ>]ボタンをクリックします。**

    ＜製品名＞には、お求め頂いた製品名が入ります。

12. **[デジタル署名が見つかりませんでした]というダイアログが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。**

    ※ マイクロソフト社によってWindows2000上での動作が確認されたソフトウェアには、デジタル署名が付けられています。2001年2月現在、本ソフトウェアにはデジタル署名が付けられていませんが、製品は正しく動作します。

13. **[完了]ボタンをクリックします。**
14. **[閉じる]ボタンをクリックし、[プロパティ]を閉じます。**
15. **[OK]ボタンをクリックし、ドライバのウィンドウを閉じます。**
16. **[OK]ボタンをクリックし、[画面のプロパティ]を閉じます。**

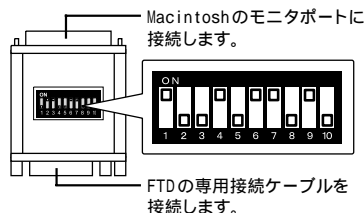
以上で設定は完了です。FTDの設定メニューで調整してから使用してください。【P12】

WindowsNT、Windows3.1/DOSを使用しているとき

WindowsNT、Windows3.1/DOSを使用している場合は、ハードウェア情報の登録作業は不要です。FTDの設定メニューで調整してから使用してください。【P12】

Macintoshを使用しているとき

FTDを接続するためには、別売の弊社製Macintosh用変換アダプタFTD-CNAが必要です。次の手順で接続してください。D-sub15ピンのアナログRGBコネクタを装備する機種では変換コネクタは不要です。

1. **変換アダプタの1、4、6、7、9をONにします。**
2. **FTDの専用接続ケーブルを変換アダプタに接続します。**
3. **変換アダプタをMacintoshのモニタポートに接続します。**

FTDの設定メニューで調整してから使用してください。**【P12】**

※ 機種によっては、パソコンの再起動時に設定を調整し直す必要があります。再起動後に文字がちらつくような場合は、設定メニューの［自動調整］を実行してください。

FTDの仕様について

● TFT液晶パネルは、精密な技術に基づいて製造されています。パネル内に画素欠け（黒点）や常時点灯する点（輝点）が存在することがありますが、製品の欠陥や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

● 画面に表示される縞模様（モアレ）について

2〜3色のドットを平行に隣接したパターンや格子状のパターンを表示させると、画面上に「モアレ」とよばれる縦縞の干渉模様が表示されることがあります。これは発光色が相互に干渉することにより発生するもので、故障ではありません。縞模様が表示されたときは、最適な画質を得るために「画面に縞模様（モアレ）が生じる／ノイズが出る」【P16】を参照して画面表示の調整を行ってください。

● 本製品の推奨解像度は、1024×768ドット（XGA）です。

● 静止画を長時間表示すると、画面表示を切り換えても静止画の残像が残る「焼き付き現象」が生じることがあります。

OSのスクリーンセーバー機能などを使用して、静止画を長時間表示しないようにしてください。
白い画面を長時間表示すると直ることがあります。

● 「スムージング機能」について

全画面表示に設定している場合に1024×768ドット未満の解像度に設定すると、画面が拡大されてフルスクリーン表示になります。

このとき、文字やグラフィックをなめらかに表示するために、本製品は自動的に中間色を使った補完処理を行います（スムージング機能）。文字やグラフィックがにじんだように見えることがありますが、故障ではありません。

また、白地に黒文字を表示すると見づらいときは、コントラストを調整してください。【P13】

表示例

あ　あ

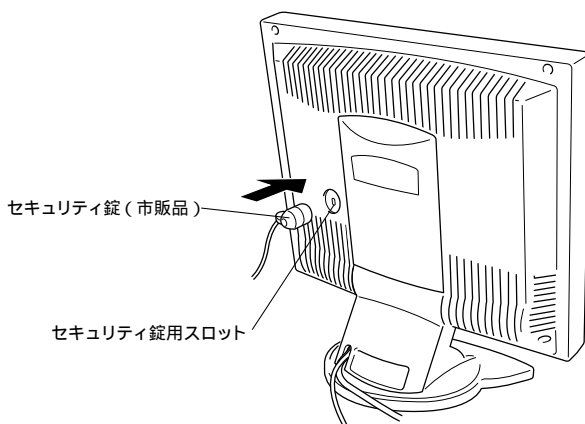
スムージング機能あり　スムージング機能なし

● パワーセーブ機能について

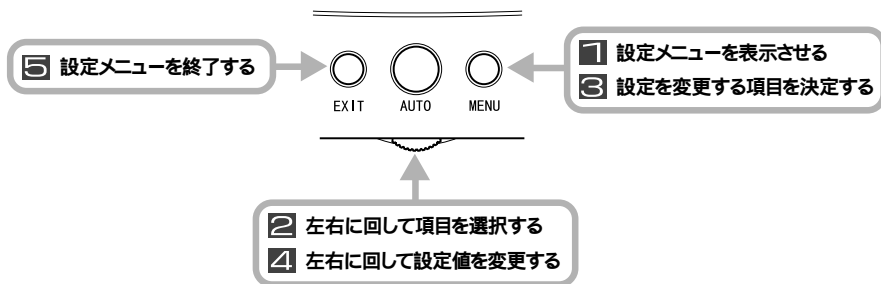
電力消費を押さえるため、一定時間パソコンを操作していない場合に自動的にパワーセーブ機能が働きます。
パワーセーブ機能が働くと、電源表示LEDがオレンジ色に点灯して画面表示が消え、音声も出力されなくなります。パワーセーブ機能が働いている状態では、消費電力は4W以下になります。
マウスを動かしたりキーボードのキーを押せば、通常の動作状態に戻ります。

※ パワーセーブ機能は、DPMS（VESA）機能を搭載するパソコンに接続し、省電力モードに設定されている場合にのみ働きます。

● セキュリティロックについて

FTDの背面には、セキュリティ錠用のスロットがあります。市販のセキュリティ錠を取り付ければ、盗難を防止できます。

画面の調整 OSD機能を使って画面表示を調整します。

調整のしかた

※ 次の作業を始める前にFTDをパソコンに接続し、周辺機器（FTDを含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにしておいてください。

次の手順で調整します。

1. MENUボタンを押して設定メニューを表示させます。
2. ホイールを左右に回して調整する項目を選択します。
3. MENUボタンを押して調整する項目を決定します。
   選択した項目内にさらに複数の項目があるときは、さらに手順2、3の操作を行ってください。
4. ホイールを左右に回して設定値を変更します。
5. EXITボタンを押します。
   1つ上の階層に戻ります。設定メニューに「SAVE」と表示されるまで、数回EXITボタンを押してください。
6. 「SAVE」と表示されたら、MENUボタンを押します。
   変更した内容が保存されます。保存したくない場合は、EXITボタンを押してください。

項目			設定内容	設定範囲	初期設定
コントラスト／輝度	コントラスト		画面の濃淡を調整します。数値が大きくなると濃く、数値が小さくなると淡くなります。	0～99	45
	輝度		画面の明るさを調整します。数値が大きくなると明るく、数値が小さくなると暗くなります。	00～99	90
画面調整	水平位置		画面の水平方向の位置を調整します。数値が大きくなると右に、小さくなると左に移動します。	00～99	*5
	垂直位置		画面の垂直方向の位置を調整します。数値が大きくなると上に、小さくなると下に移動します。	*5	*5
	フェーズ（*1）		画面にノイズが出る場合や、文字などの輪郭がぼやける場合に調整します。	00～63	*5
	水平サイズ（*1）		画面に縦の縞模様（モアレ）が出る場合に調整します。	*5	*5
色調整（*2）	C1		色温度を9300Kに設定します。やや青っぽい白色になります。OA用途の表示に用います。	—	C2
	C2		色温度を6500Kに設定します。FTDの標準値です。	—	
	C3		色温度を5800Kに設定します。やや赤っぽい白色になります。印刷時に用います。	—	
	ユーザーモード	赤	赤色の濃さを調整します。数値が大きくなると濃く、小さくなると淡くなります。	00～99	
		緑	緑色の濃さを調整します。数値が大きくなると濃く、小さくなると淡くなります。	00～99	
		青	青色の濃さを調整します。数値が大きくなると濃く、小さくなると淡くなります。	00～99	
画面情報（*3）			現在の解像度、水平周波数、垂直周波数が表示されます。	—	—
その他	OSD表示位置	水平位置	設定メニューの水平方向の位置を調整します。数値が大きくなると右に、小さくなると左に移動します。	00～99	45
		垂直位置	設定メニューの垂直方向の位置を調整します。数値が大きくなると上に、小さくなると下に移動します。	00～99	75
	言語		設定メニューの表示言語を設定します。（*4）	DE（ドイツ語）/EN（英語）/ES（スペイン語）/FR（フランス語）/IT（イタリア語）/JA（日本語）	JP（日本語）
	OSD表示時間		設定メニューの表示時間を設定します。最長1分までで、1秒単位で設定できます。	05～60	20
	音量設定		FTDの内蔵スピーカの音量を調整します。	00～99	30

*1 自動調整を行っても満足のいく表示が得られなかった場合にだけ、手動で設定してください。

*2 画像の白色部分が赤味を帯びていたり、青味を帯びているときに調整します。印刷時やフォトレタッチ時など用途の合わせて調整してください。

*3 画面情報を表示しているときにMENUボタンを押すと、［画面調整］の［水平位置］、［垂直位置］、［フェーズ］、［水平サイズ］が初期設定に戻ります。

*4 OSやアプリケーションで使用する言語は変更されません。

*5 使用する解像度や、ディスプレイの周波数によって異なります。

自動調整のしかた

FTDは、最適な画面表示が得られるよう自動的に調整を行う機能を搭載しています。
初めてFTDをパソコンに接続したときなどは、まず自動調整を行ってください。

※ DOSなど黒色部分が多い画面やアプリケーション画面などを表示した状態で自動調節を行っても、十分な効果が得られないことがあります。Windows98/95/2000/NT4.0をご使用の方は、付属ディスク「FTD-X512A Utility Disk」に収録されているプログラムLCDADJ.EXEを実行し、画面調整用の画像を表示させてから自動調整を行うことをおすすめします。Windows98/95/2000/NT4.0以外のOSを使用している方は、1ドットずつの白黒市松模様など調整に適した画像を作成し、表示されることをおすすめします。

1 **周辺機器（FTDを含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにします。**

2 **FTDのAUTOボタンを押します。**

自動調整が行われます。

※ 調整には数秒かかります。その間は設定メニューの操作はできません。自動調整を行っても満足のいく表示が得られなかった場合にだけ、手動で調整してください。

素早く調整するには

ひんぱんに調整する項目をワンタッチで呼び出して調整できます。

※ 以下の調整は、画面に設定メニューが表示されていない状態で行ってください。

● 輝度（画面の明るさ）

① ホイールを右に回すと、輝度の調整画面が表示されます。
② 再度ホイールを回して調整します。
③ EXITボタンを押します。
④ 「SAVE」と表示されたら、MENUボタンを押します。

● コントラスト（画面の濃淡）

① ホイールを左に回すと、コントラストの調整画面が表示されます。
② 再度ホイールを回して調整します。
③ EXITボタンを押します。
④ 「SAVE」と表示されたら、MENUボタンを押します。

● 内蔵スピーカのボリューム

① EXITボタンを押すと、ボリュームの調整画面が表示されます。
② ホイールを回して調整します。
③ EXITボタンを押します。
④ 「SAVE」と表示されたら、MENUボタンを押します。

困ったときには

本製品の使用時に起こりうるトラブルの内容と対処方法を説明しています。
これらの確認を行っても正常に動作しないときは、弊社インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

画面に何も表示されない

原因① ▶ ディスプレイケーブルと、ディスプレイまたはグラフィックボードとの接触不良が考えられます。

原因② ▶ パソコンに取り付けたグラフィックボードの接触不良が考えられます。

原因③ ▶ パソコンに取り付けたメモリの接触不良が考えられます。

対　応 ①～③ ▶ パソコンの電源スイッチをOFFにしてからグラフィックボード、ディスプレイケーブル、メモリを接続し直してください。

電源スイッチがONのままディスプレイケーブルや電源ケーブルを抜き差ししないでください。本製品を破損する場合があります。

原因④ ▶ 明るさが最も低い状態に設定されている可能性があります。

対応④ ▶ 設定メニューの[輝度]で画面の明るさを調節してください。【P13「輝度」】

原因⑤ ▶ 電源がOFFまたはサスペンドモードになっている可能性があります。

対応⑤ ▶ 電源表示LEDが消えているときはFTDの電源がOFFになっています。電源ボタンを押してONにしてください。
電源表示LEDが緑色で点滅しているときは、サスペンドモードになっています。キー入力やマウスを動かすなどの操作を行って、サスペンドモードから復帰してください。

原因⑥ ▶ FTDが対応していない解像度が選択されています。

対応⑥ ▶ 表示モードの設定時に、FTDが対応していない垂直周波数(Refresh Rate)を選択しないでください。【P19「対応表示モード」】
万一、対応外の周波数を選択してしまった場合は、画面に何も表示されなくなったり、表示が乱れたりします。（インターレースの場合は画面が分割されるなど、正常な表示が行えません）。その場合は次の方法で正しい周波数を選択し直してください。

＜Windows98/95の場合＞ WindowsをSafeモードで再起動し、選択可能範囲の周波数を選択し直してください。

＜Windows2000/NTの場合＞ WindowsをVGAモードで再起動し、使用可能範囲の周波数を選択し直してください。

＜Windows3.1の場合＞ DOS上でSETUP.EXEを起動し、ドライバにVGAを選択してからWindowsを再起動してください。再起動後、使用可能範囲の周波数を選択し直してください。

※設定可能な垂直同期周波数は、「対応表示モード」【P19】で確認してください。
パソコンに取り付けているグラフィックボード（パソコン内蔵のもの含む）によっては、設定可能範囲以外の数値（例:90Hz、100Hz）を選択できる場合がありますが、必ず本製品の対応周波数の範囲内【P19】で選択してください。

Windows98/95/NT4.0の画面でタスクバーが表示されない

原　因▶　仮想スクリーンモードで、画面の下側が表示領域の外に出ています。

対応①▶　マウスカーソルを画面の一番下に移動すると、画面全体がスクロールしてタスクバーが表示されます。

対応②▶　仮想スクリーンモードを使用しないようにするときは、次の操作を行って解像度を下げてください。

1. デスクトップ上でマウスの右ボタンをクリックします。表示されたメニューから[プロパティ(R)]を選択します。
2. [画面のプロパティ]ダイアログボックスが表示されたら、[設定]タブ(Windows95/NT4.0の場合は[ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細]タブ)をクリックします。
3. [画面の領域](Windows95/NT4.0の場合は[ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ領域])のスライドバーをドラッグして移動させ、解像度を下げます。

画面に縞模様(モアレ)が生じる／ノイズが出る

2〜3色のドットを平行に隣接したパターンや格子状のパターンを表示すると、モアレと呼ばれる干渉縞が生じます。

原　因▶　[フェーズ]と[水平サイズ]が正しく調整されていません。

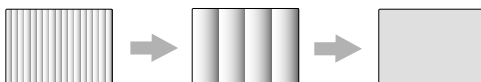
対応①▶　Windows98/95/2000/NT4.0をお使いの方は、本製品付属のプログラムで、調整用の画面を表示できます。次の手順で調整してください。

※ 次の操作は、使用する解像度、垂直周波数(Refresh Rate)で行ってください。

1. FTD付属の「FTD-X512A Utility Disk」をフロッピーディスクドライブにセットし、ディスク内のLCDADJ.EXEを起動します。
2. FTDのAUTOボタンを押します。
自動的に画面表示が調整されます。調整には数秒かかり、その間は設定メニューの操作はできません。

正しい画面状態

自動調整を実行しても縞模様が解消されないときは、続いて次の操作を行います。

3. FTDのMENUボタンを押します。
設定メニューが表示されます。
4. FTDのホイールを左右に回して画面調整 ☼ を選択し、MENUボタンを押します。
5. ホイールを左右に回して[水平サイズ]を選択しMENUボタンを押します。
6. ホイールを左右に回して最適な画面表示になるように調整します。

正しい画面状態

ホイールを回して、波模様のない状態にしてください。

次のページへ続く

7 EXITボタンを押します。
画面調整に戻ります。

8 ホイールを左右に回して[フェーズ]を選択しMENUボタンを押します。

9 ホイールを左右に回して最適な画面表示になるように調整します。

正しい画面状態

ホイールを回して、ノイズのない状態にしてください。

10 EXITボタンを2回押します。

11 「SAVE」と表示されたら、MENUボタンを押します。
変更した設定内容が保存され、設定メニューが終了します。

12 リターンキーなどの任意のキーを押すか、マウスのボタンをクリックします。
LCDADJ.EXEが終了し、通常のWindows画面が表示されます。

対応② ▶ デスクトップパターン(壁紙)にモアレが生じるときは、各OSのヘルプを参照してデスクトップパターンを変更してください。

ノイズが出ないよう調整したにもかかわらず、アプリケーション実行時に画面が乱れることがある(特に動画再生時)

原　因 ▶ 画面の調整中に、ノイズが解消できるポイント(設定メニューの[フェーズ])の設定値が2箇所ある場合があります。2つの解消ポイントでの画面表示は同じように見えるため、どちらを設定値に選んでもノイズは除去できたように見えますが、設定値が異なるため、調整後のアプリケーション画面でノイズが発生することがあります。
その場合は、選択したポイント以外のポイントを選択し直す必要があります。

対　応 ▶ 再度設定メニューの[フェーズ]でノイズを除去する設定を行ってください。このとき、一度出荷時設定に戻すと設定しやすくなります。
※出荷時設定に戻すには、設定メニューで画面情報を選択してMENUボタンを押します。出荷時設定に戻した場合、画面のサイズや位置など全ての項目が出荷時の状態に戻りますので、ご注意ください。必要ならば他の設定項目も再設定してください。

自動調整で思い通りの結果が得られない

原　因 ▶ 調整中の画面表示が適切でない

対　応 ▶ 調整結果は、実行の際に表示されている画面に影響されます。
もっとも効果的なのは、1ドットずつの白黒市松模様が全体に表示された画面です。
DOSなどの黒い部分が多い画面や、アプリケーション画面では十分な効果が得られない場合がありますのでご注意ください。
Windows98/95/2000/NT4.0をご使用の方は、付属ディスク「FTD-X512A Utility Disk」に収録されているプログラムLCDADJ.EXEを実行すれば、この画像が表示されます。Windows98/95/2000/NT4.0以外のOSをご使用の方は適切な画像を作成し、表示されることをおすすめします。

上記の対策を行っても、画像信号の状態によっては(複数に分岐している、ノイズが発生している、など)十分な結果が得られないことがあります。あらかじめご了承ください。

製品仕様

パネル	15型　カラーTFT液晶
解像度（最大）	XGAサイズ（1024×768ドット）
表示面積	304.1(H)×228.1(V)mm
ドットピッチ	0.297(H)×0.297(V)mm
色数（最大）	1677万色(フルカラー)
輝度（最大）	250cd/㎡
コントラスト比（平均）	400:1
視野角度（平均）	上40°　下 60°　左右 120°
入力信号方式	アナログRGB
入力端子	D-sub 15ピン(ミニ、3列タイプ)
DDC	DDC 1/2B
対応周波数	水平 31.5〜60.2KHz　垂直 56〜75Hz
スピーカ	アクティブスピーカ(左右8Ω、1W)
電源	100V AC±10%　50/60Hz
消費電力	35W(Max)（省電力モード時:4W以下）
外形寸法	380(W)×383(H)×186(D)mm（本体のみ）
重量	5.2kg（本体のみ）
動作環境	温度　10〜35℃ 湿度　結露無きこと

※ NEC PC-9821/9801シリーズのうち、D-sub15ピン(3列)のアナログRGBコネクタを装備していない機種でFTDを使用するときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

※ Macintoshのうち、D-sub15ピン(3列)のアナログRGB端子を装備していない機種にFTDを接続する場合は、別売の弊社製Macintosh用変換アダプタFTD-CNAを別途用意してください。【P10「Macintoshを使用しているとき」】

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照してください。

OSD機能について

OSDとはオンスクリーン ディスプレイの略称です。
ディスプレイ表示に関する設定項目の選択やその調整の度合いを、実際にディスプレイ上に表示させて確認しながら調整するための機能です。
画面の表示サイズや表示位置、明るさ、コントラストなどを設定できます。

対応表示モード

本製品は次の表示モードに対応しています。

ビデオ信号	解像度（ドット）	ドットクロック（MHz）	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
VGA	640×350	25.2	31.5	70
VGA	640×400	25.2	31.5	70
VGA	640×480	25.2	31.5	60
VGA	720×400	28.3	31.5	70
VESA	640×480	31.5	37.9	72
		31.5	37.9	75
	800×600	36.0	35.2	56
		40.0	37.9	60
		50.0	48.1	72
		49.5	46.9	75
	1024×768	65.0	48.4	60
		75.0	56.5	70
		78.8	60.0	75
IBM	1024×768	78.4	57.7	72
MAC13"MODE	640×480	30.2	35.0	67
MAC16"MODE	832×624	57.3	49.7	75
MAC19"MODE	1024×768	80.0	60.2	75

※ 1024×768ドットでの使用をおすすめします。

※ 垂直周波数が60Hzの表示モードで使用されることをおすすめします。

※ 上記以外の信号でも表示できることがあります。

※ 上記の信号でも、最適な画面表示を得るためには調整が必要です。

※ Macintoshのうち、D-sub15ピン（3列）のアナログRGB端子を装備していない機種にFTDを接続する場合は、別売の弊社製Macintosh用変換アダプタFTD-CNAを用意してください。

液晶ディスプレイの特性

液晶ディスプレイには次のような特性があります。

- 色純度の劣化　白黒反転表示や明るい画面で長時間使用を続けると、色純度が劣化することがあります。その場合は輝度を調整してください。
- 焼き付き　静止画を長時間表示すると、画面表示を切り換えても静止画の残像が残る「焼き付き現象」が生じることがあります。スクリーンセーバー機能などを使用し、静止画を長時間表示しないようにしてください。

FAX NO. 052-619-1830　株式会社メルコ　インフォメーションセンター行

※ FAXでのお問い合わせには、この問い合わせ票をご使用ください。

液晶ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ問い合わせ票

お問い合わせ日　　　年　　月　　日

ﾒﾙｺ製品名（保証書などをご参照ください）

ＦＴＤー

(ｼﾘｱﾙNO　　　　　　　　　)

使用ﾊﾟｿｺﾝ：

ﾒｰｶｰ:

解像度	表示状態
640x480	
800x600	
1024x768	
起動時	

ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｱﾀﾞﾌﾟﾀ

現象：

使用OS：　　　　Ver.　　　　ｻｰﾋﾞｽﾊﾟｯｸ：

使用ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝｿﾌﾄ

詳細：　　　　　(別紙 有・無)

貴社名		ご氏名	
ご住所		ＴＥＬ	
		ＦＡＸ	

平日9時～17時にご連絡可能な電話番号を明記頂ければ幸いです。

■保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアルNo.が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合でも、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ(本書裏表紙参照)にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先　[氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
② 平日昼間の連絡先　[氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況　[始めから/ある日突然/環境を変えたら]
⑧ 発生頻度　[必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他]
⑨ コンピュータ　[本体メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑩ ハードディスク　[メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑪ ディスプレイ　[メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑫ その他周辺機器　[メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑬ OS(オペレーティング・システム)　[ソフト名/メーカ名/バージョン]
⑭ 製品以外の添付品　[付属ソフトなど]

製品送付先	〒457-8520	名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ　修理センター宛
電話番号	052-619-1289	

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター(裏表紙に記載)へお願いします。

※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断り致します。

※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。

※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

※ ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。

※ 修理期間は、製品の到着後７日程度（弊社営業日数）を予定しております。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

FTD-X512A ユーザーズマニュアル

2001年2月28日 初版発行
発行　　株式会社メルコ

この装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域に置いて使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。
しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機等に近接してご使用になると、受信障害の原因になることがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
本製品は電波雑音規格VCCI二種に適合しておりますが、誤った使用をされた場合は保証しかねますので下記の点に注意してください。

・電源コードは必ず付属品をお使いください。
・信号ケーブルは本書に従い、必ず付属のディスプレイケーブルをお使いください。
・電源のアースは必ず接地してください。
・本体の内部およびケーブルの改造はしないでください。

この装置はFCC規則パート15に従うクラスBデジタル機器に対する限度値に適合することが、試験の結果認められています。これらの限度値は住宅地域での据付けにおいておこる有害な妨害に対し、適切な保護を与えるために設けられています。本装置は無線周波エネルギーを発生し、利用し、かつ放射することがあります。また指導マニュアルに従わずに取りつけまたは使用する場合は、無線通信に対する有害な妨害の原因となり得ます。しかしながら、ある特殊な取り付けにおいてそのような妨害が引き起こされないであろうという保証はありません。もし、当装置がラジオまたはテレビ受信への有害な妨害の原因となっており、その妨害が当装置をオン及びオフにすることによって確認できる場合は、お客様は以下の対策をひとつ以上利用して妨害を是正するよう試みることをお勧めします。

・受信アンテナを向け直すか配置し直す
・本装置と受信機の間を広げる
・受信機が接続されている回路と異なる回路上のコンセントに当該装置を接続する
・ディーラー経験のあるラジオ／TV技術者に助言を求める

本製品の規格に関して

弊社は、国際エネルギースタープログラムへの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

液晶ディスプレイ・コンポーネントパソコン専用ダイヤル

<東　京> 03-5350-7871　月〜金 9:30〜12:00/13:00〜19:00　※祝日を除く
土/祝 9:30〜12:00/13:00〜17:00　※年末年始と日曜日を除く

<名古屋> 052-619-1792　月〜金 9:30〜12:00/13:00〜17:00　※祝日を除く

※　事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
・コンピュータ名と使用OS
・本製品の製品名とシリアルナンバー
・現象（具体的なエラーメッセージなど）

※　受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。